

1 ペットと一緒に避難できるように話し合っておきましょう

■ ペットとの同行避難

ペットとの同行避難とは、災害が発生したときに、飼い主とペットと一緒に避難場所まで安全に避難することをいいます。

過去の災害では、いったん避難した飼い主が、ペットを避難させるために自宅に戻り、災害に巻き込まれてしまった事例がありました。ペットとともに躊躇せず避難することが大切です。

■ 家族で話し合い

災害が起こったときにどう対応するか、様々な場面を想定して、家族全員で話し合っておきましょう。ペットを守るか、ペットを連れて避難できるか、動物の種類や数をよく考えて飼うようにしましょう。また、飼い主が飼育できない状況を想定して、親戚や友人など、緊急的にペットを預かってくれる方を複数探しておきましょう。

話し合いのポイント

- ・家族間の連絡方法と集合場所を決める。
- ・非常持出袋などの備蓄物資の保管場所と中身を確認する。
- ・飼っているペットの避難方法を確認する。
- ・飼い主が留守中に災害が起きたときの対処方法を検討する。



■ ご近所や飼い主仲間との連携

普段から、ご近所の方々と良好な関係を築けるよう、コミュニケーションや飼育マナーに気を配るとともに、災害時にはお互いが助け合えるよう、ご近所や飼い主仲間と話し合っておきましょう。

防災でのキーワード「自助」「共助」「公助」

- **自助**: 自分とペットの命は自分で守ること
- **共助**: ご近所や飼い主仲間で助け合うこと
- **公助**: 行政機関などの公的機関が支援すること

※大規模な災害では、行政機関などによる支援が始まるまで、自助や共助により乗り越えなければなりません。

※飼い主には、まずは自分の安全を確保し、その上で、ペットの安全と健康を守り、他者に迷惑をかけることなく、ペットを適正に飼育管理する責務があります。